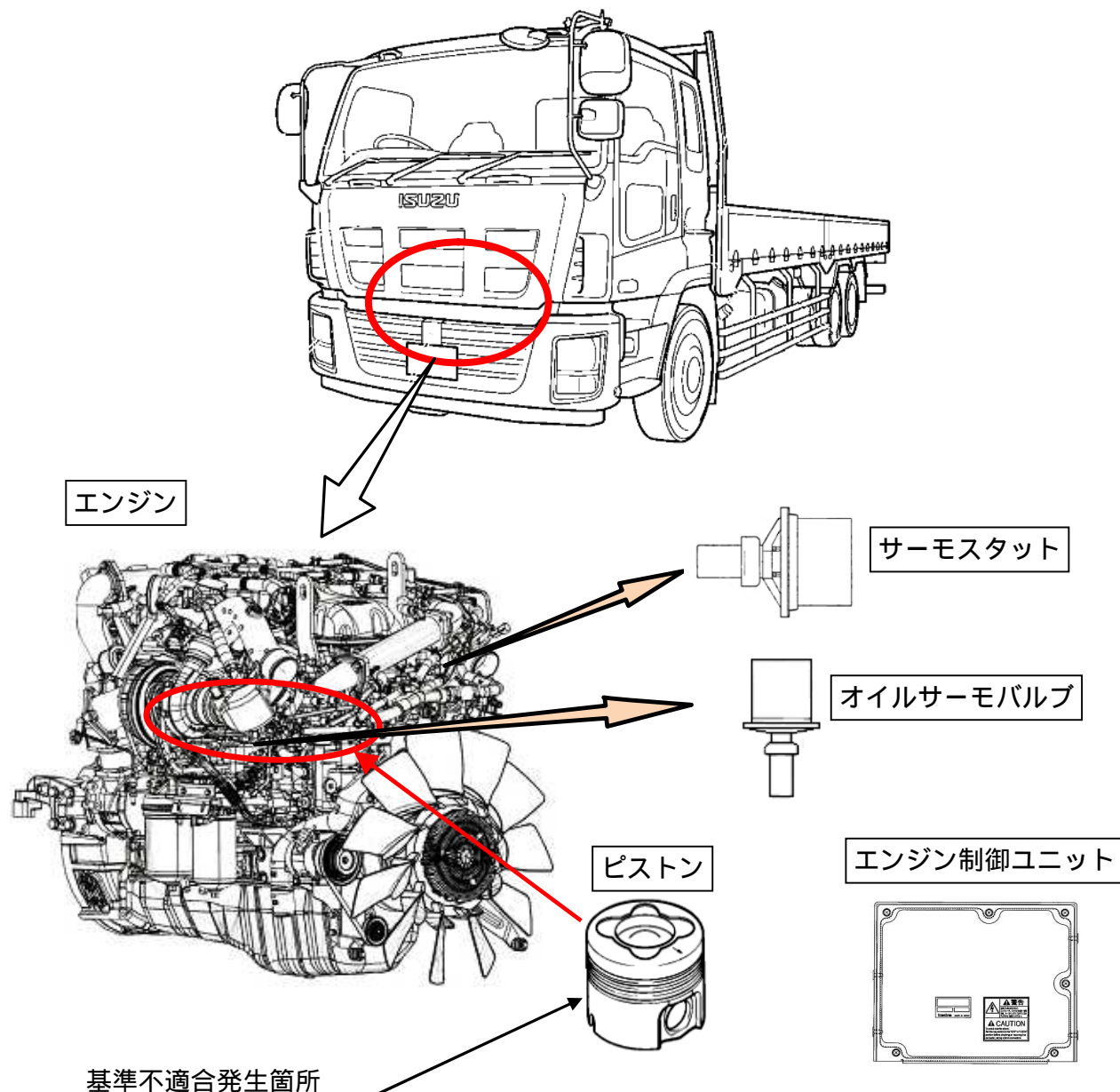


改善箇所説明図



大型トラック用エンジンにおいて、DPD（粒子状物質除去装置）再生時のエンジン制御プログラムが不適切なため、ピストンの温度が高くなり、ピストンに過大な負荷がかかり、亀裂が生じるものがある。そのため、そのまま使用を続けると亀裂が進行し、ピストンに穴が開き、エンジン出力の低下及び白煙を排出し、最悪の場合、走行不能に至るおそれがある。

改善の内容：

全車両、エンジン制御プログラムを書き換え、サーモスタット、オイルサーモバルブを対策品に交換する。また、車両走行データを確認し、負荷及びその頻度の高い車両はピストンを点検し、亀裂のあるものはエンジンを対策品に交換する。

識別：オイルクーラのオイルパイプ部に黄色ペイントを塗布する。

注： は措置する部品を示す。